

2006年1月31日
東京海上日動火災保険株式会社

マレーシアにおけるタカフル事業免許の取得

東京海上日動火災保険株式会社（社長 石原邦夫）は、マレーシアで現地大手銀行グループであるホンリョングループ（以下「HLG」）の共同事業者として、外国資本による元受会社への直接出資としては同国初となる元受タカフル事業免許（生損タカフル兼営）を Bank Negara Malaysia（マレーシア中央銀行、以下「BNM」）より取得いたしました。

今後 HLG と協同して合弁会社を設立し、2006 年中の営業開始を目指します。

マレーシアにおいて、ミレアグループでは従来から Tokio Marine Insurans (Malaysia) Bhd. (TMIM) を通じて損害保険事業を展開してまいりました。一方、同国では、1984 年に初のタカフル会社が設立され、BNM の指導の下にこれまで地場資本 5 社がタカフル事業を行ってきました。同国タカフル市場の将来の成長を支えるための更なる基盤強化、ならびにタカフル事業における同国の先進的地位の確立を狙いとし、昨年 5 月、外資合弁も含め新たに 4 つのタカフル事業免許を交付する方針が公布されました。

これを受け、当社は今般 HLG の共同事業者として、外国資本による直接出資としては同国初となる元受タカフル事業免許（生損タカフル兼営）を取得いたしました。同国におけるタカフル事業への進出は、ミレアグループのタカフル事業としてはサウジアラビア（元受）、インドネシア（元受）、シンガポール（再保険）に続く 4 番目の事業となります。

今後は HLG と合弁会社を設立し、当初は、HLG 傘下のイスラム銀行の営業網を活用して、イスラム式住宅ローンを対象とした団体信用生命保険、長期火災保険などを販売する予定です。詳細な事業計画は今後 HLG と協議の上策定いたしますが、順次種目、販売チャネルを拡大し、開業 5 年以内に約 40 億円前後の拠出金（保険料に相当）を見込んでおります。なお新会社の事業管理・運営は、シンガポールのグループ内アジア統括会社である Millea Asia Pte. Ltd. (CEO 玉井孝明、以下「ミレアアジア」) にて行ってまいります。

ミレアグループでは、新中期計画「ステージ拡大 2008」において、海外生損保事業戦略としてそれぞれの地域特性に合わせた内部成長戦略と M & A ・出資・提携などの戦略を組み合わせて大胆に展開することを掲げております。アジアにおいてはマレーシア、タイ、台湾の優先国・地域を中心に生損保の展開を、イスラム圏においてはタカフルの展開に積極的に取り組んでまいります。

< ホンリヨングループの概要 >

クエック・レンチャン氏が率いる建材、金融、不動産などを展開する華僑財閥で、シンガポールの同名グループとは親類関係にあります。金融分野ではホンリヨン銀行(資産規模で同国5位)、生損保(元受保険料規模で同国生保7位、損保8位)、イスラム式銀行などを有しています。

< タカフルの概要 >

タカフルとは、過剰な不確実性、賭博、利子などを禁じるイスラムの教義に沿いながら、損害てん補、死亡・疾病保障、相互扶助といった保険の持つ経済効果を享受すべく1979年にスーダンで生まれた制度です。